

議会報告会報告書

令和5年2月27日

大竹市議会

議長 賀屋 幸治 様

C班

班長 小中 真樹雄

議会報告会の実施状況について、次のとおり報告します。

1 開催日時

令和5年2月9日（木） 19時から20時30分

2 開催場所

総合市民会館

3 参加人数

8人

4 担当班議員名

班 長 小中 真樹雄

副班長 細川 雅子

班 員 日域 究

網谷 芳孝

北地 範久

5 報告会次第

(1) 開会あいさつ

(2) 議会からの報告

① 上下水道料金の改定について

② 議員定数について

(3) 意見交換

① 立戸地区の雨水対策について

(4) その他のご意見

(5) 閉会あいさつ

6 議会からの報告についての主な質疑応答

(回答した質疑)

Q：水道管敷設について、水道料金にパイプ交換の費用などは反映するのか。将来のメンテナンスの料金もはいつているのか。

A：水道は独立採算なので、老朽化などの改善費用も料金に反映している。

Q：水道管のメンテナンスなどの将来計画はあるのか。

A：水道局のホームページに将来計画も含めた経営戦略を掲載しているのでそちらを読んでいただければ。安心材料になると思う。改修に毎年1億5千万円かけても100年かかると聞いている。かなり厳しい状況ではある。

Q：定数16は人口比で見たときには、広島県でどのような位置にあるか。多いほうか、少ない方か。

A：人口比はいままで国の法律で示されていたが、国は示さなくなった。安芸高田や江田島と同じで、竹原は14。一般の傾向からどのくらいが適当か示すのは難しい。定数削減は議員にとって不利なので議員が決めるのは難しい。以前、市民から定数削減の陳情が出て決めたことがある。

(意見・要望等)

- ・自らの利害に関係するので議員自身が削減するのは難しいので第三者委員会などを設置して検討してもらったほうがいいのか。

7 主な意見交換 「立戸地区の雨水対策について」

(回答した質問)

Q：下水道の処理について。下水と川の線引きは、河川法とのからみはどうかっているのか。油見に在住だが、以前道路が陥没した時に管理者がわからないので連絡できなかった。広島県は土砂災害危険区域が全国一多い。避難などどうするのか。

A：法的なことは調査してみます。管理は土木課がしています。※1

Q：立戸は上流から水が流れてくるので市に対策をしてほしい。

A：ポンプをつくって排水するしかない。みなさんの考えを聞きながら意見をまとめてもらって対策をやっていくのが、難しいこともある。市では污水整備の方が優先され、雨水対策は遅れている。

Q：立戸地区のポンプのスイッチはどうかっているのか。

A：自動でスイッチは入る。

Q：元町地区は雨水と下水管が一緒になっていることがある。大雨が降ると下水がいっぱいになってトイレが使えない。

A：上下水道局が調査していると聞いているので確認する。公共下水が整備されても、大雨が降ってトイレが使えないのはまずい。

Q：業者が接続を間違っって工事した場合、上下水道局は関知しないのか。

A：家を建てたら確認申請がありチェックはしているが、その後変えたりするとチェックできない。

Q：三菱レイヨン（現三菱ケミカル）内に敷設されているポンプの電気代はどこが払っているのか。※2

A：調査してみます。

8 その他の主なご意見

Q：立戸中市線は制限速度が制限速度は30キロだが守る車は少ない。子供の事故などが不安なのでゆっくり走ろうねと衆知してほしい。通る車の台数を制限してほしい。制限速度を守って安全になればいい。以前、市が歩道を青く塗ってくれて、一定の効果はあったと思う。警察に道路のパトロールをお願いしても前例がないと断られた。

A：道を広げるなどなどができればいいのだが。玖波では危ない道路を警察がパトロールしてくれた。前例になると思う。

Q：大竹の特産品は何か。情報交換しながら、もっとPRすればいいのでは。

A：カキとかあたたハマチ to レモン等がある。大竹市のホームページの「大竹市の魅力いっぱい」のコーナーやふるさと納税の返礼品などみていただければ。

9 気付きや反省点

- ・意見交換のテーマが「立戸地区の雨水対策について」だったが、ポスター・チラシでの案内は「雨水対策」になっていたので、油見や元町の方が来られたようだ。立戸から参加された方が雨水対策について意見を言いたかったかもしれない。

※1

※2